

第36回海洋開発シンポジウム

2011年6月30日[木] - 7月1日[金]

1. 主催：土木学会（担当：海洋開発委員会）
2. 後援：国土交通省四国地方整備局
3. 開催期日：2011年6月30日（木）～7月1日（金）
4. 会場：愛媛県県民文化会館（ひめぎんホール）
（松山市道後町2-9-14、伊予鉄市内電車「南町・県民文化会館前」下車）
http://www.ecf.or.jp/m_facilities/index.html
5. 参加方法：参加無料、自由参加（事前の申込は不要です。当日会場へ直接ご来場ください。）
6. 講演集：講演集（CD-ROM媒体）は、委員会ホームページにて事前販売および当日販売いたします。
価格：2,000円（消費税、送料込）
7. 発表時間：1論文15分（発表10分、討議5分）
8. 懇親会：(1) 日時：6月30日（木）18：30～
(2) 場所：メルパルク松山（松山市道後姫塚123-2）
（シンポジウム会場からホテルマイクロバスを利用）
(3) 参加費・受付：7,000円
シンポジウム会場総合受付にてお申し込みください。
9. 見学会：(1) 日時：7月1日（金）午前
(2) コース：松山港・周辺海岸の船上見学
(3) 参加費・受付：無料、シンポジウム会場総合受付にてお申し込みください。
(4) 定員：40名程度

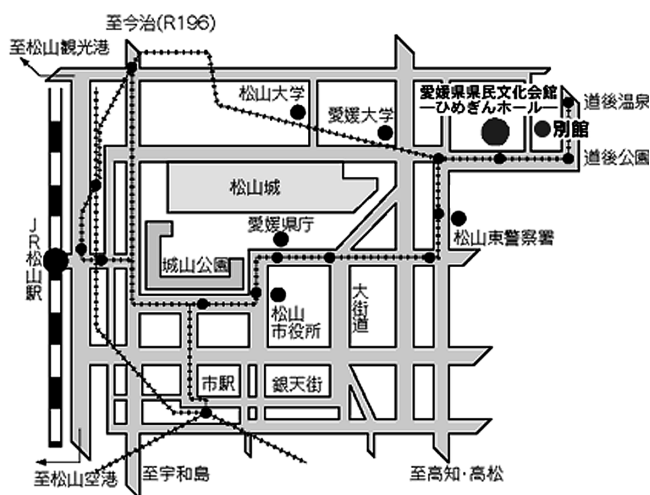
※プログラム等の詳細につきましては、土木学会海洋開発委員会ホームページをご覧ください。（<http://www.jsce.or.jp/committee/ocean/>）
※本シンポジウムは、土木学会CPD（継続教育）プログラムとして認定されています。
※問合せ先：土木学会事務局 研究事業課（担当：岩西）
TEL03-3355-3559

1日目：2011年6月30日（木）

時間	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場
9:00 - 9:05	開会挨拶				
9:10 - 10:15	津波特別セッション 東北地方太平洋沖津波の被災分析				
10:25 - 11:45	波と構造物(1)	生物生息環境	津波(1)	沿岸域管理・保全(1)	海水、油
11:45 - 12:45	昼食・休憩				
12:45 - 14:05	波と構造物(2)	水域環境(1)	津波(2)	沿岸域管理・保全(2)	河口域
14:15 - 15:35	波と構造物(3)	水域環境(2)	津波(3)	物流・航海	漂砂・飛砂対策
15:55 - 17:30	特別セッションS-1 海域施設の設計・施工技術の新たな展開を目指して	特別セッションS-2 閉鎖性水域における環境改善技術について			

2日目：2011年7月1日（金）

時間	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場
9:00 - 10:20	浮体構造物	建設材料	津波(4)	沿岸防災	海浜変形・漂砂(1)
10:30 - 11:50	エネルギー	地盤	港湾施設の保全	長周期波	海浜変形・漂砂(2)
11:50 - 12:40	昼食・休憩				
12:40 - 14:00	沿岸構造物	浚渫・石材投入・覆砂	沿岸の流れ	風・波浪統計(1)	海浜変形・漂砂(3)
14:10 - 15:30	波・流れ(1)	底質・干潟(1)	沿岸の流れ・観測技術	風・波浪統計(2)	海浜変形・漂砂(4)
15:40 - 17:00	波・流れ(2)	底質・干潟(2)	観測技術	高潮・台風	海浜変形・漂砂(5)
17:30 - 17:35	閉会挨拶				



(ひめぎんホールへのアクセス)

- JR松山駅から
 - ・伊予鉄市内電車（道後温泉行）で約15分 南町・県民文化会館前で下車
 - ・伊予鉄バス（道後温泉駅前行）で約20分 南町・県民文化会館前で下車
- 松山市駅から
 - ・伊予鉄市内電車（道後温泉行）で約10分 南町・県民文化会館前で下車
 - ・伊予鉄バス（道後温泉駅前行）で約15分 南町・県民文化会館前で下車
- 松山空港から
 - ・伊予鉄バス（道後温泉駅前行）で約40分 南町・県民文化会館前で下車
 - ・リムジンバスで約30分 南町・県民文化会館前で下車



CPD 認定プログラム
JSCE11-0245 15.1 単位

「第36回 海洋開発シンポジウム」講演プログラム

第1会場(ひめぎんホール2階「真珠の間(A)」)

第1日目(6月30日(木))

日	時間	セッション名 座長	番号	発表者名	論文名	著者名
6/30(木)	9:00~9:05 第1会場 開会挨拶 柴山委員長					
	9:05 ~ 10:15	津波特別セッション 東北地方太平洋沖津波の 被災分析 <small>司会 中村孝幸(愛媛大学)</small>		辰巳大介	港湾施設の津波被害状況	
				諏訪義雄	海岸保全施設の被災と復旧の方向性について	
				柴山知也	沿岸防災の将来と東北地方太平洋沖津波の教訓	
	休憩 10分					
	10:25 ~ 11:45	波と構造物(1) 荒木進歩 大阪大学	1	本村航平	波浪場における小規模非対称構造物群による残差流の定量評価	押川英夫 本村航平 小松利光
			2	菊雅美	風外力を考慮した護岸越波解析のための数値波動水路の提案	川崎浩司 菊雅美
			3	古牧大樹	SPH法を用いた波力低減型海域制御構造物に関する数値実験	古牧大樹 安野浩一 西畑剛
			4	山川一美	大規模海岸保全施設の潜堤断面と端部処理	中川洋一 大下善幸 山川一美 長谷川蔵 福垣茂樹
			5	河村裕之	多孔型直立消波ケーソンの波力特性について	河村裕之 小籠誠一郎 浅田潤一郎 中村孝幸
	休憩 60分					
	12:45 ~ 14:05	波と構造物(2) 小竹康夫 東洋建設(株)	6	金山達	流れとの干渉を考慮した護体の挙動の簡易計算法	金山達 安野浩一 琴浦毅
			7	吉田誠	グラウンドアンカーによるケーソン式防波堤の滑動防止工法に関する水理実験	吉田誠 清宮理 田代聡一 合田和哉 竹家宏治
			8	澤田豊	L型防波堤の安定性に関する遠心力模型実験	三宅達夫 澤田豊 嶋々崎和博 菊池喜昭
			9	比嘉了規	海岸堤防・護岸の被災限界の研究	山本吉道 成吉兼二 比嘉了規
10			大久保陽介	防波堤の滑動に伴う波高増大を考慮した滑動破壊確率の算定	長尾毅 辻尾大樹 大久保陽介 熊谷健蔵	
休憩 10分						
14:15 ~ 15:35	波と構造物(3) 木村克俊 室蘭工業大学	11	鬼頭孝明	透過型防波堤の流速特性及び伝達波特性に関する実験的研究	内田吉文 神藤明彦 鬼頭孝明 杉本達重 森川高徳 近藤泰徳	
		12	森澤海里	水平板と潜堤からなる複合型防波堤の防波効果について	森澤海里	
		13	平山陸幸	護岸被覆工の天端と法面の複合被災における消波性能の予測モデル	平山陸幸 松見吉晴 河合直樹 藤本啓伸 太田隆夫 大野賢一	
		14	重松孝昌	被覆式直立堤の反射特性に及ぼす被覆断面の影響に関する実験的研究	重松孝昌 竹下航 前川雅俊 坪井研 松下敏貴 徳永誠之	
		15	橋本洋	水理模型実験結果によるケーソン式混成堤の波浪による変形特性に関する一考察	長尾毅 橋本洋	
休憩 20分						
15:55 ~ 17:30	特別セッション S-1 海域施設の設計・施工技術の 新たな展開を目指して ~被災事例に学び、将来に活かす~ <small>コーディネーター 下迫健一郎(港湾空港技術研究所) コーディネーター 木村克俊(室蘭工業大学) 加藤史訓(国土技術政策総合研究所)</small>	S1-1	関克己	日本沿岸の季節別波浪特性の経年変化	関克己 河合弘泰 佐藤真	
		S1-2	加藤史訓	海岸堤防・護岸の被災に関する実態調査	加藤史訓 野口賢二 諏訪義雄	
		S1-3	平山克也	海岸・港湾施設における近年の高波災害の特徴とその類型化の試み	平山克也	

第1会場(ひめぎんホール2階「真珠の間(A)」)

第2日目(7月1日(金))

日	時間	セッション名 座長	番号	発表者名	論文名	著者名
7/1(金)	9:00 ~ 10:20	浮体構造物 織田幸伸 大成建設(株)	16	川崎浩司	越波低減浮体パネルの動的挙動に関する多相流数値シミュレーション	川崎浩司 HanDinhUt 松野哲弥 福本正
			17	増田光弘	3次元MPS法による岸壁近傍に設置された浮体式構造物の津波中挙動予測法に関する研究	増田光弘 増田光一 尾崎樹樹 庄司那郎
			18	熊谷兼太郎	風洞水槽におけるコンテナ模型の流動に与える風と流れの効果に関する実験	熊谷兼太郎 根木貴史
			19	山下啓	薄板状浮体構造物を移動する荷重により生成される表面波及び内部波の数値解析	山下啓 柿沼太郎 中山恵介
			20	伊藤麻衣子	建屋背後の係留船舶に及ぼす風の影響	伊藤麻衣子 新井信一 相原昭洋 高橋敏彦
	休憩 10分					
	10:30 ~ 11:50	エネルギー 陸田秀実 広島大学	21	種浦圭輔	水俣市丸島漁港における浮体-釣合鍾式波力発電装置の実証試験	種浦圭輔 平石直也 羽田野袋 松崎浩憲 川野恵治 草野徹也
			22	PallavKoirala	Effect of adding Constant Torque Resistance on the Dynamics of the Float Counterweight Wave Energy Device	PallavKoirala 羽田野袋 種浦圭輔 品川亮
			23	浦中光太	潮流エネルギー変換のための直立式水車に関する研究	中村孝幸 青山善行 浦中光太 安井孝 二宮一成
			24	井内国光	糸島海峡周辺海域における潮流エネルギー賦存量の推定	井内国光 中村孝幸 安井孝 二宮一成
			25	白石悟	中型風車による港湾・漁港における自立型風力エネルギー活用に関する検討	白石悟 永井紀彦 鈴木高二朗 田中陽二 牛山泉 西沢良史 細見雅生 小川路加
	休憩 50分					
	12:40 ~ 14:00	沿岸構造物 松本朗 不動テトラ	26	宮下健一郎	地盤変形による曲げモーメントを考慮した直杭式構造物の断面最適化に関する研究	宮下健一郎 長尾毅
			27	山野貴司	低天端有脚式離岸堤の局所洗濯に関する水理模型実験	藤原隆一 山野貴司 野村浩二
			28	桑原直範	傾斜式護岸のレベル1地震動に対する簡易耐震照査手法に関する基礎的研究	長尾毅 桑原直範 尾崎竜三
29			辺見聡	急海底勾配海岸における必要ブロック質量の算定	井田聡 清水清文 福清方哉 石橋大輔 辺見聡	
30			大東秀光	防波堤マウンド法先部被覆ブロックの耐波安定性に関する平面水理実験	大東秀光 有光剛 川崎浩司	
休憩 10分						
14:10 ~ 15:30	波・流れ(1) 横山勉 (財)電力中央研究所	31	李光浩	波と浮体式構造物の相互作用と浮体周りの流動場の特性に関する実験的研究	李光浩 水谷法美 山田裕貴	
		32	WeiPENG	Numerical study on dynamic response of submerged floating breakwater with impermeable mooring plate	WeiPENG Kwang-HoLEE NorimMIZUTANI	
		33	中嶋さやか	急勾配リーフ地形におけるリーフ上の波の変形に関する実験的研究	中嶋さやか 関本恒浩 片山裕之 高橋研也	
		34	岩瀬浩之	複数の方向スペクトルにより造波された不規則波の浅海域における波高頻度分布特性	平山克也 岩瀬浩之 加島寛孝	
		35	李佑東	波と流れの相互作用に及ぼす交差角度の影響に関する研究	李佑東 水谷法美 許東秀	
休憩 10分						
15:40 ~ 17:00	波・流れ(2) 川崎浩司 名古屋大学	36	平山克也	ブシネスクモデルによる護岸越波・浸水過程に関する再現計算	平山克也 長谷川蔵	
		37	中川知和	粒子法による護岸越波現象の数値計算	中川知和 片岡保人 竹島直人 諏訪多聞 風間正喜	
		38	井島聖也	MPS法における新しい自由表面判定法の開発とその応用	井島聖也 入部嗣清 仲座栄三	
		39	渡邊忠尚	新たな圧力勾配計算手法を取り入れたMPS法の進行波への適用性に関する研究	渡邊忠尚 入部嗣清 仲座栄三	
		40	高橋研也	数値波動水路CADMAS-SURFにおける不規則波入力法の改良と乱流モデルの適用	高橋研也 関本恒浩	
17:30~17:35 第1会場 閉会挨拶 五明幹事長						

「第36回 海洋開発シンポジウム」講演プログラム

第2会場(ひめぎんホール2階「真珠の間(B)」)

第1日目(6月30日(木))

日	時間	セッション名 座長	番号	発表者名	論文名	著者名	
6/30(木)	9:00~9:05 第1会場 開会挨拶 柴山委員長						
	休憩 10分						
	10:25 ~ 11:45	生物生息環境 中瀬浩太 五洋建設(株)	41	長谷川一幸	鳥根原子力発電所前面海域の人工リーフに藻場が形成される可能性の検討	長谷川一幸 山本正之 三浦雅大	
			42	池田宗平	熱帯性海草類の生育場創出による藻場造成実証実験	照屋雅彦 酒井洋一 具志良太 興儀成也 坂井隆行 池田宗平 加地智彦 細谷誠一	
			43	加村聡	港湾内に設置した生物生息基質の水質浄化機能の定量化	加村聡 藤澤真也 片山貴之 齋藤達昭 田原実 岸本英昭	
			44	小西望美	ズワイガニ人工幼生の遊泳生態に基づいた数値幼生モデルの開発	小西望美 瀬戸雅文 山本岳男 高橋廉一	
	45	瀬戸雅文	マナモコ人工種苗の管足より発生する固着力と流動耐性	瀬戸雅文 佐藤聡一郎 巻口範人 小形孝			
	休憩 60分						
	12:45 ~ 14:05	水域環境(1) 清野聡子 九州大学	46	吉江祐人	函館港内の流動と水質の変動特性について	宮武誠 吉江祐人 淡野一 松村一弘	
			47	アイヌルアブリズ	東京湾の水環境予測を目的したGCMデータの利用	アイヌルアブリズ 丸谷靖幸 中山恵介 仲江川敏之 古川恵太	
			48	岡田知也	現場型硫化物センサーを用いた硫化物の鉛直分布の測定およびその分布の特徴	岡田知也 吉田潤 古川恵太	
			49	横山佳裕	博多湾における栄養塩濃度の変化に伴う植物プランクトンの種の変化の解析	横山佳裕 吉次祥子 中嶋雅孝 内田唯史 中西弘	
	50	古林将	潮間帯における付着生物と水質を指標とした環境評価手法に及ぼす潮位の影響	古林将 島田広昭 市瀬友啓			
	休憩 10分						
	14:15 ~ 15:35	水域環境(2) 矢内栄二 千葉工業大学	51	田井明	閉鎖性内湾における半日周潮の振幅増幅率の変動特性	田井明 矢野真一郎 藤塚修平 齋田倫範 小松利光	
52			宇野宏司	都市閉鎖性水域における自然砂浜の地形変化	宇野宏司 菅野祐馬 辻本剛三 柿木哲哉		
53			陸田秀実	江田島湾のカキ筏配置の季節変動と海水交換率への影響	陸田秀実 村上一樹 土井康明 山本良次 川口修		
54			藤澤真也	カキ殻など二枚貝の貝殻を利用した閉鎖性海域における底質改良技術の開発	藤澤真也 近藤正美 岩本俊樹 島井正也 穴口裕司 片山真基 田原実		
55			作野裕司	青潮発生時における海色の定量評価の試み	作野裕司 小林拓 比嘉敏士 鯉淵幸生 虎谷充浩		
休憩 20分							
15:55 ~ 17:30	特別セッション S-2 閉鎖性水域における環境改善技術について トヨタグループ 古川恵太(国土技術政策総合研究所) トヨタグループ 明田直夫(水産総合研究センター) 鈴木高二郎(港湾空港技術研究所) 水村茂樹(東亜工業大学) 五明美智男(東亜建設工業(株))	S2-1	古川恵太	閉鎖性水域における環境改善技術について～ベストプラクティスを探して～	古川恵太 明田直夫 鈴木高二郎 水村茂樹 五明美智男		
		S2-2	玉上和範	海域における生物生息基盤としてのダム湖底深土砂の適応性に関する研究	玉上和範 五十嵐学 早川淳 津田宗男 古川恵太		
		S2-3	村上寛洋	2重式カーテン構造を採用した港外水導入方式の海水交換効率に関する研究	中村孝幸 村上寛洋		
		S2-4	大木協	管内曝気による気泡集合体を用いたDO改善の試み	大木協 福本裕輝 馬駿 羽田野原敏彦 朝位孝二 中野陽一 藤原哲彦 原田利男		
		S2-5	野口幸太	西表島網取湾内の流動特性とサンゴ生息分布との関係	吉野純 野口幸太 鶴岡亮行 中瀬浩太 河野裕美 木村賢史 村上智一 安田孝志		

第2会場(ひめぎんホール2階「真珠の間(B)」)

第2日目(7月1日(金))

日	時間	セッション名 座長	番号	発表者名	論文名	著者名	
7/1(金)	9:00 ~ 10:20	建設材料 武田将英 東亜建設工業(株)	56	小林薫	水産系副産物(貝殻)の保水性に着目した土質代替材への利用に向けた基礎的研究	小林薫 中房悟 西村友良 森井俊広	
			57	林田健志	ホタテ貝殻の浄化効果の持続性と実用化に向けた検討	岡本健太郎 山本潤 福田光男 林田健志 峰寛明 大橋正臣 田畑真一	
			58	宮田康人	製鋼スラグ製品を用いた藻場・漁礁マウンドへの生物着生	宮田康人 本田秀樹 数田和哉 林明夫 山本良次	
			59	川端雄一郎	スラグ細骨材を大量混合したコンクリートの港湾の無筋コンクリート構造物への適用性	川端雄一郎 岩波光保 加藤敏夫	
	60	山崎智弘	サンドマッシュクの温度および載荷速度に対する強度特性試験	山崎智弘 澤田豊 横井敬			
	休憩 10分						
	10:30 ~ 11:50	地盤 佐々真志 (独)港湾空港技術研究所	61	森川嘉之	造粒固化土を利用した人工海浜の波浪作用時の挙動に関する遠心模型実験	森川嘉之 桑原拓馬 早野公敏 高橋英紀	
			62	熊谷隆宏	気液二相流のサイフォン機能を利用した圧密地盤改良方法の研究	熊谷隆宏 高特真 安田淳一 濱谷祐 貞山直毅 小野大和	
			63	稲富祐太郎	不良車に着目した改良地盤の液状化リスク分析	稲富祐太郎 善功企 陳光斉 笠間清伸	
			64	塚谷常廣	東京国際空港D滑走路工事におけるRt-CPTによる調査・施工管理の適用性について	塚谷常廣 高橋充 木内大介 野口孝俊	
	65	羽田晃	海面処分場における土質選水材料の鉛直透水壁への施工例	山崎宏和 山田耕一 羽田晃 道中彰 梅田倫 渡部要一			
	休憩 50分						
	12:40 ~ 14:00	浚渫・石材投入・覆砂 重松孝昌 大阪市立大学	66	山下祐佳	脱水固化処理による大型浚渫土ブロックの均質性および強度特性	山下祐佳 善功企 陳光斉 笠間清伸	
			67	松見吉晴	人工海底山脈築造における石材投入管理システムの現地適用性に関する研究	松見吉晴 青野利夫 長田慶一 片上智之 原洋平 関根信寛 高瀬和彦	
			68	横田華奈子	循環型クリーン覆砂工法の開発	横田華奈子 織田幸伸 本田隆英	
69			武田将英	浅海域における薄層覆砂の堆積特性	武田将英 山田良平 中澤慎一 五明美智男 篠原邦彦 上野雅明		
70	増田龍哉	パルス再生細骨材の覆砂材への適用に関する研究	増田龍哉 御園生敏治 植本麻菜美 重石弘弘 浪平隆男 滝川清				
休憩 10分							
14:10 ~ 15:30	底質・干潟(1) 日比野忠史 広島大学	71	村上和仁	東京湾沿岸に位置する前浜干潟・河口干潟・潟湖化干潟の水環境健全性指標による特性解析	村上和仁		
		72	古谷貴洋	有明海泥質干潟における懸濁物質輸送の季節変動特性	古谷貴洋 山本浩一 速水祐一 濱田孝治 吉野健児 関根雅彦		
		73	松尾幸平	有明海における干潟底生生物の指標化に関する研究	松尾幸平 増田龍哉 御園生敏治 五十嵐学 森本利太郎 滝川清		
		74	大谷社介	徳島県勝浦川河口干潟におけるヘナタの分布特性と個体群動態	大谷社介 上月康則 山中亮一		
		75	梅田悠輔	干潟堆積物における改訂安定同位体法($\delta^{13}C$)を用いた脱窒とアノモックスの測定	佐々木奈々 梅田悠輔 野崎勝己 村上和男 桑江朝比呂 三好美一		
休憩 10分							
15:40 ~ 17:00	底質・干潟(2) 佐々木淳 横浜国立大学	76	岩尾大輔	有明海における人工渠を用いた底質改善技術に関する研究	岩尾大輔 五十嵐学 増田龍哉 御園生敏治 滝川清		
		77	藤原哲彦	廃棄物リサイクル品を用いた底質改善手法の検討	日比野忠史 藤原哲彦 田多一史 中川保夫		
		78	井上省吾	石炭灰渣粒物の海底被覆による海域環境の改善効果	井上省吾 西野博史 木村道夫 日比野忠史 首藤啓		
		79	日比野忠史	石炭灰渣粒物による底質改善効果の予測モデルの構築	日比野忠史 三戸勇吾 齋藤直 木村道夫		
		80	末次弘道	ヘド化した海域における石炭灰渣粒物の海底散布のめり込み量の評価と予測	末次弘道 三戸勇吾 木村道夫 日比野忠史		
17:30~17:35 第1会場 閉会挨拶 五明幹事長							

「第36回 海洋開発シンポジウム」講演プログラム

第3会場(ひめぎんホール3階「第6会議室」)

第1日目(6月30日(木))

日	時間	セッション名 座長	番号	発表者名	論文名	著者名
6/30(木)	9:00~9:05 第1会場 閉会挨拶 柴山委員長					
	休憩 10分					
	10:25 ~ 11:45	津波(1) 山本吉道 東海大学	81	三上貞仁	2010年チリ沖地震津波災害の現地調査	三上貞仁 柴山知也 武若聡 MiguelEsteban 大平幸一郎 RafaelAranguez MauricioVillagran AlvaroAyala
			82	辰巳大介	2010年チリ沖地震津波の波源推定	辰巳大介 富田孝史
			83	平石哲也	田辺湾における2010年チリ沖地震津波の増幅特性と沿岸観測網の活用	平石哲也 武藤武則 鈴木崇之 久保輝広 岸弘毅 島田広明
			84	川上哲太郎	2010年チリ地震における静岡県内漁業者の津波対策行動調査	川上哲太郎 川崎一平 山田吉彦
			85	杉本晃洋	海水浴場利用者の津波防災意識に及ぼす防災教育や対策の効果	杉本晃洋 大年邦雄 石垣泰輔 島田広昭
	休憩 60分					
	12:45 ~ 14:05	津波(2) 松山昌史 (財)電力中央研究所	86	柿沼太郎	津波の生成や伝播に対する流速分布及び密度成層の影響	柿沼太郎 山下啓 佐々野明 藤間功司 中山恵介
			87	田邊卓	遼上津波による戻り流れを考慮した非固定陸上構造物周辺の局所洗掘に関する実験的研究	中村友昭 田邊卓 水谷法美
			88	澁谷陽	孤立波による漂流物の衝突力と付加質量	澁谷陽 新井信一 高橋敏彦 相原昭洋
			89	林建二郎	海岸林に作用する流体力の評価	林建二郎 齋藤良 浅野敏之 浦島三郎
			90	植村潤一	想定地震津波高と関連づけられたわが国海岸林に求める津波防災能力の評価	浅野敏之 植村潤一
	休憩 10分					
	14:15 ~ 15:35	津波(3) 川上哲太郎 東海大学	91	安野浩一朗	漂流被害の確率的評価方法の提案	安野浩一朗 森屋陽一 西畑剛
			92	岡本修	津波時の港内船舶の安全性向上に関する研究	岡本修
			93	Fadly Usman	SWOT and Shelter Plan Analysis for Mitigating Tsunami Disaster	Fadly Usman KeisukeMurakami
			94	増田光一	港湾物流機能維持のため海域津波ハザードマップ開発に関する研究	増田光一 居勒知樹 小泉俊和子 増田光弘
			95	MohammadBagusAdityawan	Modeling of Breaking Solitary Wave Run Up	monammadagusAdityawan HitoshiTanaka
			96	BambangWinarta	Closed conduit system for the generating boundary layer induced by solitary wave	BambangWinarta HitoshiTANAKA

第3会場(ひめぎんホール3階「第6会議室」)

第2日目(7月1日(金))

日	時間	セッション名 座長	番号	発表者名	論文名	著者名
7/1(金)	9:00 ~ 10:20	津波(4) 伊藤一教 大成建設(株)	97	木村雄一郎	複数構造物の連成運動を考慮したフラップゲートの段波応答に関する数値解析	木村雄一郎 柳浩敏 森西晃嗣 森信人 間瀬曜
			98	IndradWijatmiko	Tsunami Bore Pressures and Forces Acting on Structures Surrounded by Weir	IndradWijatmiko KeisukeMurakami
			99	小竹康夫	起伏式天端を有する津波-高潮減災構造物の開発	小竹康夫 金澤剛 山崎圭 松村章子
			100	NyeinZinLAT	Effectiveness of a Newly Developed Resonator against Tsunamis	NyeinZinLAT NakamuraTakayuki
			101	金正富雄	須崎港における津波漂流物対策施設の防護性能に関する現地実証実験	國松靖 田村節雄 芝清久 小原恒平 金正富雄 田代徹 内山一郎 鈴木雄太
	休憩 10分					
	10:30 ~ 11:50	港湾施設の保全 半沢稔 (株)不動テトラ	102	三上信雄	漁港施設へのストックマネジメントの適用と運用システムの提案	三上信雄 浅川典敬 藤田孝康 岡野崇裕 水野敏雄 笠井哲郎
			103	加藤綾乃	係留施設の機能低下に関する実態調査	加藤綾乃 川端雄一郎 岩波光保
			104	岩波光保	構構上部工の保有性能評価に基づく対策優先順位決定手法に関する一提案	岩波光保 加藤綾乃 川端雄一郎
			105	山之内順	防波護岸における防砂シートの損傷条件と対策に関する検討	菅原吉浩 山之内順 上久保勝美 山本泰司 岩田真
			106	魚住健治	鉛直壁の波作用時に発生する飛沫特性に関する基礎的研究	武田得英 魚住健治 重松孝昌 津田宗男 羽淵貴士 網野真彦
	休憩 50分					
	12:40 ~ 14:00	沿岸の流れ 浅野敏之 鹿児島大学	107	岡辺拓巳	静岡県相良海岸における静穏時の離岸流発生特性	石川仁憲 岡辺拓巳 坂口敬洋 青木伸一
			108	小澤裕介	海洋短波レーダーによる潮流測定と表層流の海上風による影響の平面分布特性	小澤裕介 阿久津匠市 村上和男
			109	柴木秀之	松山港周辺海域の流況特性の解析と潮流予測システムの構築	高橋吉弘 森田真治 木村誠 柴木秀之 高尾敏幸 古泉統義
			110	高尾敏幸	高松港濁り拡散予測システムとその現地適用性	高尾敏幸 西岡正則 栗田健太郎 湯浅泰三 柴木秀之 高尾敏幸
			111	金澤剛	鉛直管を用いた土砂投入に伴う底層水の流動と濁りの抑制装置の開発	金澤剛 鶴ヶ崎和博 重松孝昌 平野辰昇 森田研志
	休憩 10分					
	14:10 ~ 15:30	沿岸の流れ 観測技術 鈴木高二朗 (独)港湾空港技術研究所	112	河野泰士	潮流発電の適地選定に関連した五島列島周辺海域における潮流観測	河野泰士 落合弘志 山城徹 城本一義 経塚雄策 永瀬恭一
			113	高田雅司	混合期における鹿児島湾への外洋水の流入特性について	高田雅司 山城徹 城本一義 中村啓彦 内山正樹 福田隆二 仁科文字
			114	館山一孝	衛星リモートセンシングによるオホーツク海氷厚変動の監視	館山一孝 榎本浩之
			115	榎本浩之	衛星リモートセンシングによるサロマ湖の結氷状況の推定とその経年変化	館山一孝 榎本浩之
			116	仲座栄三	航空写真のGIS解析による石垣島マングローブ域面積の変遷	仲座栄三 渡邊康志 川平大典 入部綱清 RusilaSavou
	休憩 10分					
	15:40 ~ 17:00	観測技術 片山裕之 五洋建設(株)	117	笹岡信吾	うらあげ高観測システムの開発	加藤史朗 笹岡信吾 諏訪義雄 松藤絵理子 上原謙太郎 富田雄一郎 北村康司 田向順光
118			神野有生	WorldView-2衛星画像を用いたサンゴ礁汎用水深推定式構築の試み	神野有生 髭淵幸生 磯部雅彦 寺田一美 関根雅彦 胡忠	
119			吉井匠	ビデオカメラを用いた汀線測量方法と精度検証	吉井匠 松山昌史 石井幸	
120			石原耕一	三里松原海岸の漂砂特性について	押川英夫 石原耕一 小島治幸 藤曙光 小松利光	
121			長山昭夫	指宿知林ヶ島陸繋砂州の断面形状特性に関する研究	長山昭夫 浅野敏之	

17:30~17:35 第1会場 閉会挨拶 玉野幹事長

「第36回 海洋開発シンポジウム」講演プログラム

第4会場(ひめぎんホール3階「第8会議室」)

第1日目(6月30日(木))

日	時間	セッション名 座長	番号	発表者名	論文名	著者名
6/30(木)	9:00~9:05 第1会場 開会挨拶 柴山委員長					
	休憩 10分					
	10:25 ~ 11:45	沿岸域管理・保全(1) 加藤史朗 国土交通省国土技術政策総合 研究所	122	市村康	海岸利用者による皆生海岸整備事業の継続的便益評価に関する実証的研究	松原雄平 黒岩正光 市村康 藤原博昭
			123	JuliantiManu	インドネシアにおける海岸保全事業	JuliantiManu 西隆一郎 細谷和範
			124	坂井真幸	五名横島海岸保全事業における環境配慮事業の評価と管理手法に関する検討	増田龍哉 坂井真幸 御園生敬治 原田稔 岡本憲明 滝川清
			125	清野聡子	離島振興策としての「海洋保護区」-生物多様性保全と越境汚染の解決の枠組	清野聡子
			126	後藤浩	海水浴場の公衆衛生施設の利用に関する実証調査	後藤浩 前野賢彦 竹澤三雄
	休憩 60分					
	12:45 ~ 14:05	沿岸域管理・保全(2) 平石哲也 京都大学	127	岸田弘之	公物管理に関する河川と海岸の比較分析に基づく沿岸域管理のあり方について	岸田弘之
			128	田代優秋	地域環境課題の解決を目指した専門家-地域住民との協働継続要因-人的ネットワーク構築に着目して	田代優秋 鎌田磨人
			129	袖山和志	消波ブロックの形状特性と景観(調和感)の関係についての検討	袖山和志 松浦繁徳 木島克己 山本宏樹 柴田あずさ
			130	中瀬浩太	海域を活用した公開型実験施設「オープンフィールドラボ」の運用	中瀬浩太 岩井克己 倉本誠司 中山憲治 上嶋英機
			131	小泉哲也	海外の超大型のコンテナターミナル整備動向に関する基礎的分析	小泉哲也 渡部富博 鈴木恒平
	休憩 10分					
	14:15 ~ 15:35	物流・航海 鈴木武 国土交通省国土技術政策総合 研究所	132	赤倉康寛	パナマ運河拡張後の米国-東アジア貨物流動に関する考察	赤倉康寛
133			笹健児	沖合波浪およびAISデータを用いたフェリー海難の事故分析に関する研究	笹健児 若林伸和 小林英一 寺田大介 塩谷茂明	
134			塩谷茂明	沿岸航海の安全のための航海シミュレーションに関する研究	塩谷茂明 牧野秀成 永吉優也 柳馨竹 嶋田陽一	
135			森本剣太郎	内航旅客不定期航路の事業活動、運航状況および使用船舶特性に関する基礎分析	森本剣太郎	
136			嶋田陽一	気候変動指数を用いた北太平洋における航海時間と気候変動の関係-大圏航路	嶋田陽一 高橋桂子 塩谷茂明	

第4会場(ひめぎんホール3階「第8会議室」)

第2日目(7月1日(金))

日	時間	セッション名 座長	番号	発表者名	論文名	著者名
7/1(金)	9:00 ~ 10:20	沿岸防災 平山克也 (独)港湾空港技術研究所	137	森屋陽一	ケーソン式混成堤の滑动破壊確率に及ぼす高波の継続時間の影響	森屋陽一 安野浩一朗 長尾毅
			138	上久保勝美	海岸道路用防波フェンスの必要高さや作用波力に関する検討	上久保勝美 菅原健司 山本泰司 木村克俊 今井浩平 小原康信 名越隆雄 上北正一
			139	佐藤典之	防波堤前面波の確率分布と既存の確率分布関数による定式化	佐藤典之 長尾毅
			140	吉野真史	傾斜護岸における高波による人身事故の分析	吉野真史 丸山和美 山本泰司 上久保勝美 木村克俊
			141	琴浦毅	波浪推算の計算領域が海上作業可否の判定精度に及ぼす影響	琴浦毅 森屋陽一 関本恒浩
	休憩 10分					
	10:30 ~ 11:50	長周期波 水谷法美 名古屋大学	142	島田知樹	分岐した細長い湾における副振動対策としての防波堤設置の効果について	浅野敏之 島田知樹 山本竜太郎 片山裕之
			143	山先達也	港口部共振装置による長周期波の制御効果に関する研究	中村孝幸 NyenZinLAT 東和希 山先達也
			144	小林雄一	Deconvolution法を用いた長周期波の水位波形推定に関する研究	小林雄一 泉尊司
			145	横田雅紀	つねりを観測する条件下での海面抵抗係数の逆推定精度に関する検討	横田雅紀 橋本典明 田中雄太 児玉充由
			146	松崎義孝	テレメトリスシステムを用いた海象情報収集漂流ブイの試作及び実海域実験	松崎義孝 藤田勇 吉江宗生
	休憩 50分					
	12:40 ~ 14:00	風・波浪統計(1) 永井紀彦 (独)港湾空港技術研究所	147	鈴木靖	日本沿岸の風速長期変動特性とその将来予測	鈴木靖 道広有理 叶木律子 吉村豊
			148	山口正隆	東京湾、伊勢湾および瀬戸内海における風速の極値の推定	山口正隆 大福学 野中浩一 畑田佳男 日野幹雄
			149	仲井圭二	南関東沿岸における異常潮位の出現特性	鈴木高二郎 河合弘泰 仲井圭二
150			川口浩二	長期波浪推算結果に基づく日本沿岸の波浪特性	川口浩二	
151			片山裕之	日本海の高波継続時間の特性について	片山裕之 関本恒浩	
休憩 10分						
14:10 ~ 15:30	風・波浪統計(2) 池谷 毅 鹿島建設(株)	152	MuhammadZikra	Analysis of Wave Spectra for Shallow Water Waves Using Video Image Technique	MuhammadZikra 橋本典明 横田雅紀 山城賢 鈴木高二郎	
		153	合田良実	年最大値資料に基づいて推計した再現確率統計量の負の偏りについて	合田良実	
		154	岩崎裕志	海象計における種々の波動量の組合せによる方向スペクトル推定精度の比較	岩崎裕志 横田雅紀 橋本典明 三井正雄 河合弘泰	
		155	永井紀彦	洋上風の乱れと波浪との同時生起性に関する実証的検討	永井紀彦 川口浩二 吉村豊 吉岡健 谷川亮一 青木功	
		156	泉宮尊司	N年最大統計量の適合性を考慮した分布関数の採択基準の提案	池谷仁史 泉宮尊司	
休憩 10分						
15:40 ~ 17:00	高潮・台風 森屋陽一 五洋建設	157	木梨行宏	高潮推算における気象外力の入力時間間隔に関する検討 ~台風9918号を例として~	木梨行宏 中野俊夫 横田雅紀 橋本典明 山城賢 下川信也	
		158	村上智一	大気-海洋-波浪結合モデルを用いた可能最大級台風による東京湾の高潮予測	村上智一 吉野純 深尾宏矩 安田孝志 飯塚聡	
		159	深尾宏矩	現在気候の下での最大級台風による伊勢湾の可能最大高潮	村上智一 深尾宏矩 吉野純 安田孝志	
		160	丹羽竜也	台風の強大化に伴う伊勢湾湾奥部の高潮・高波による氾濫危険度の評価	川崎浩司 丹羽竜也	
		161	鈴木武	地球温暖化による高潮変化シナリオを使った浸水被害の予測	鈴木武 根木貞史 柴木秀之	
17:30~17:35 第1会場 閉会挨拶 玉明幹事長						

「第36回 海洋開発シンポジウム」講演プログラム

第5会場(ひめぎんホール3階「第5、第7会議室」)

第1日目(6月30日(木))

日	時間	セッション名 座長	番号	発表者名	論文名	著者名	
6/30(木)	9:00~9:05 第1会場 開会挨拶 柴山委員長						
	休憩 10分						
	10:25 ~ 11:45	海水油 大塚夏彦 北日本港湾コンサルタント(株)	162	加藤一行	海水の設計的参照強度データの設定法の提案	加藤一行	
			163	菅原吉浩	オホーツク海の流水減少が波浪に与える影響	菅原吉浩 大塚淳一 山本泰司 山下俊彦	
			164	竹内貴弘	水温が変形水面結層の定常クリップ特性に与える影響について	竹内貴弘 木岡信治 河合孝治	
			165	木岡信治	氷群下面の凹凸を考慮したアイスブームへの伝達荷重に関する基礎的研究	木岡信治 竹内貴弘	
			166	藤田勇	高粘度エマルジョン化油の管内流動制御	藤田勇 松崎義孝 白石哲也	
	休憩 60分						
	12:45 ~ 14:05	河口域 熊谷隆宏 五洋建設(株)	167	吉田政貴	導水および循環流場の制御による河口域での堆砂低減効果に関する実験的研究	吉田政貴 田島芳満 佐藤慎司	
			168	宇多高明	干潟海岸に流入する隕川河口部における地形変化の実態	宇多高明 三波俊郎 宮原志帆 芥沢真澄 福澤一博	
			169	丹治雄一	連続静止画像に基づく島田川河口部における地形変動特性の分析	田島芳満 丹治雄一 三宅健一 加藤広之 中山哲蔵	
			170	星上幸良	琵琶湖の隕川河口部と近江白浜の湖浜変形	山崎彰吾 引山誠 宇多高明 星上幸良 小澤宏樹 清水達也 野志保仁	
			171	西隆一郎	インレットの安定な潮口断面積に関する研究	西隆一郎 又野友之輔 山城徹 日高正康 林健太郎 TommyJansen	
	休憩 10分						
	14:15 ~ 15:35	漂砂・飛砂対策 東江隆夫 大成建設(株)	172	渡辺国広	袋詰め工の現地試験施工に向けた水理模型実験	渡辺国広 諏訪義雄 高田保彦 土橋和敬 弘中淳市 梶原幸治 野口賢二 関口隆高	
173			土橋和敬	大型袋詰め工の現地施工試験	土橋和敬 高垣勝彦 黄榮敏弘 諏訪義雄 野口賢二 渡辺国広 関口隆高		
174			酒井和也	中津干潟三百間砂州における袋詰め石突陣による沿岸漂砂の制御実験	酒井和也 宇多高明 足利由紀子 清野聡子 山本真哉 三原博起 沖崎由		
175			久留島暢之	飛砂対策工の効果に関する現地試験	片野明良 久留島暢之		
		176	野志保仁	離岸堤の設計基準の改善策	宇多高明 野志保仁 星上幸良		

第5会場(ひめぎんホール3階「第5、第7会議室」)

第2日目(7月1日(金))

日	時間	セッション名 座長	番号	発表者名	論文名	著者名	
7/1(金)	9:00 ~ 10:20	海浜変形・漂砂(1) 田島芳満 東京大学	177	鈴木崇之	汀線位置変動に及ぼす周波数別波浪および浜形状の影響	鈴木崇之	
			178	鷺見浩一	千里浜海岸の汀線位置の変動に関する基礎的研究	鷺見浩一 出村拓也 山清太郎 小田晃 落合実 遠藤茂勝	
			179	清水達也	南九十九里浜一宮海岸の長期汀線変化と沿岸漂砂量分布の推定	宇多高明 熊田貴之 清水達也 中山拓也 石井光男 保田英明	
			180	三波俊郎	空中写真とNMB測量データに基づく平塚海岸の地形変化分析	三波俊郎 宇多高明 石川仁憲 細川順一 塩入同	
			181	古池鋼	障の拡散を抑制しつつ浜幅を広げる手法の検討-茅ヶ崎中海岸の例	石川仁憲 宇多高明 古池鋼 三波俊郎 三枝薫 進藤豊 和田昌明	
	休憩 10分						
	10:30 ~ 11:50	海浜変形・漂砂(2) 小林昭男 日本大学	182	林健太郎	島式漁港周辺での漂砂特性	林健太郎 佐々木崇之 山本明広 吉米地庄吾 中山哲蔵 近藤慎郎 川森晃	
			183	戸巻昭三	石狩湾新港東側海岸周辺における海浜地形変化と港口流入土砂に関する考察	戸巻昭三 佐藤寿彦 竹沢三雄 後藤浩 黒岩正光	
			184	斉藤知秀	現地観測・数値解析による港内堆砂に及ぼす海蝕崖の影響に関する一考察	斉藤知秀 小林正典 池野正明 吉井匠 張旭紅	
			185	佐々木淳	スリランカ・キリンダ漁港における南西・北東モンスーンによる土砂堆積変動の把握	佐々木淳 Lakmath,D.P.C 鈴木崇之	
			186	石原遼	港湾内の土砂堆積傾向に及ぼす波深範囲の影響に関する3次元数値解析	中村友昭 石原遼 水谷法美 尾上幸一郎 藤永聖一 山田耕三 石川正紀	
	休憩 50分						
	12:40 ~ 14:00	海浜変形・漂砂(3) 村上啓介 宮崎大学	187	石川仁憲	閉空間と開空間での粗粒材養浜がもたらす効果・影響の相互比較	石川仁憲 宇多高明	
			188	流谷容子	養浜土砂が2次元海浜断面地形に与える影響に関する実験的研究	流谷容子 八尾規子 砂後聡子 松原雄平 黒岩正光	
			189	田中浩充	高波浪時における礁浜の変形と越波・浜崖形成防止に有効な養浜形状の検討	岡田昌之 田中浩充 宇多高明 石川仁憲 三波俊郎 芥沢真澄 神田康嗣	
190			渡辺宗介	神奈川県逗子海岸の海浜変形と養浜の効果検討	宇多高明 渡辺宗介 細川順一 塩入同 三波俊郎 石川仁憲		
		191	泉正寿	三浦半島秋谷海岸における養浜障の挙動	小林正博 村上義隆 田村貴久 泉正寿		
休憩 10分							
14:10 ~ 15:30	海浜変形・漂砂(4) 清水隆夫 財団法人電力中央研究所	192	中村友昭	Large-Eddy Simulationにおける漂砂計算への渦の効果の導入と週上津波による洗掘現象への適用に関する研究	中村友昭 水谷法美		
		193	芥沢真澄	浅い干潟面上で岸向きに発達する細長い砂州の形成予測-BGモデルの応用	芥沢真澄 宇多高明 宮原志帆		
		194	塩入同	神奈川県鎌倉海岸(材木座海岸と由比ヶ浜)の海浜変形予測	塩入同 宇多高明 細川順一 三波俊郎 宮原志帆 芥沢真澄 石川仁憲		
		195	石野芳夫	音響測深記録を利用した地形と底質粒径特性に関する観測	石野芳夫 柳嶋一 栗山昭一		
		196	百瀬尚至	遠州灘海岸(天竜川~今切口)の広域海床地形変化の実態	宇多高明 百瀬尚至 遠藤和正 三波俊郎 古池鋼 石川仁憲		
休憩 10分							
15:40 ~ 17:00	海浜変形・漂砂(5) 鈴木崇之 横浜国立大学	197	大貫崇	福島県四倉・夏井海岸の海浜変形の実態	小林昭男 大貫崇 宇多高明 野志保仁 星上幸良		
		198	細川順一	神奈川県七里ヶ浜の海浜変形の実態と再現計算	細川順一 宇多高明 塩入同 三波俊郎 宮原志帆 芥沢真澄 石川仁憲		
		199	熊田貴之	南九十九里浜一宮海岸のヘッドランド周辺の地形特性	宇多高明 熊田貴之 清水達也 高澤和雄 川瀬栄 今村康士		
		200	渡邊恵瑠加	大規模構造物近傍の浜崖後退の実態と海岸侵食対策に関する研究	佐藤慎司 渡邊恵瑠加 八尾直輝		
		201	田村憲史	平潟漁港に隣接する九ノ崎~五浦海岸での土地利用の変化と海浜変形	田村憲史 小林昭男 宇多高明 黒澤祐司 遠藤利利 野志保仁		
17:30~17:35 第1会場 閉会挨拶 玉明幹事長							